

平成30年12月10日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会  
会長 小川郁男 様

施設名 介護老人保健施設 ハーティハイム  
氏名 藤本 武史

## 研修会報告書

研修会名	第2回相談関係職員研修会				
日時	平成30年11月27日(火)10:00～16:00				
会場	埼玉県県民活動総合センター 第1会議室				
講師	きんもくせい 支援相談員 近松 樹一郎 氏 鶴ヶ島ケアホーム 支援相談員 西尾 幸子 氏				
参加人数	51名(研修メンバー6名含む)				
研修委員 (氏名・施設名)	小江戸の郷 吉野 まどか あすかHOUSE松伏 永井 千恵 あげお愛友の里 宮河 恭介 高齢者ケアセンターゆらぎ 中台 衣久美 はなぶさ 篠塚 伸子 ハーティハイム 藤本 武史				
研修会のテーマ	重度者の受け入れについてソーシャルワークの視点で考える				
研修会の評価	アンケート回収枚数	41 枚	3. グループワーク	4.2 / 5	
	1. 研修内容と目的の一致	3.9 / 5	4. 研修会の進め方	4.2 / 5	
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	～総合評価点～	21 / 25
		②	4 / 5		
③		/ 5			
④		/ 5			
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)				
	<p>今回の研修では「重度者の受け入れ」をテーマに、昨今多くの施設が課題として掲げる重度者をいかにして受け入れるのかを考えました。参加者数はますますですが、勤務年数10年以上の方も多数見え、各施設で「重度者」の受け入れに関心がある事が伺えました。午前中は県内老健の支援相談員2名より、それぞれ実践報告で講義を頂きました。医療型短期入所事業(障がい者を老健で受け入れていく)や在宅強化型の施設様から実際どのような形で重度者を受け入れているのか具体的な事例も交え話していただきました。制度を初めて知った、貴重な話が聞けて良かったという意見が聞かれました。午後からは、当研修会で二度目の試みとなる、ワールドカフェ方式でのグループワークを行いました。3つのラウンドを作り、テーマに沿った話し合いを行い各グループで導き出したキーワードと明日から取り組む目標を考えました。気軽で話しやすい環境を作り、普段の何気ない会話から、意見を出し合うと言う技法でしたが、いつもより多くの対話を交わせた、また開催して欲しいと言った意見も聞かれ好評を得ました。</p> <p>重度者は何を持って重度者と位置付けられるのか、各職種によって様々な解釈があると思いますが、支援相談員はソーシャルワークの視点から「重度者」を考え、施設の質を高めるには、どのようなアプローチが必要なのかを考えました。時には利用者、家族、様々なジレンマや葛藤の中、何が正解かを導き出すのは困難なこともあります。この研修を通じ、互いに理解を深め、情報を交換し、各施設に持ち帰れたのであれば幸いです。今回、「重度者」という意味であまり目的と一致していないと言う厳しいご意見も頂きましたが、今後の課題として、次回に反映できるよう努力いたします。本研修会実施に当たり、ご協力いただきました理事、事務局、ご参加下さいました施設関係の皆様に変更して感謝申し上げます。</p>				

\*アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。